

Cisco CallManager での混雑状態の ISDN B チャネルの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco CallManager でのビジーアウト B チャネル](#)

[関連情報](#)

概要

ISDN PRI ユーザが発信コールで断続的な速いビジーを経験した場合は、トラブルシューティングの目的で B チャネルを正常にビジーアウト（正常なアウトオブサービス）できます。このドキュメントは、メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル（MGCP）で制御された T1 または E1 音声ポートについて Cisco CallManager から B チャネルをビジーアウトする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 3.3 に基づいていますが、4.x および 5.x プラットフォームで検証済みです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[Cisco CallManager でのビジーアウト B チャネル](#)

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

トラブルシューティングの目的で、Cisco CallManager から B チャンネルを正常にビジーアウトできません。これは Cisco CallManager Administrator Web ページで設定できます。次の手順を実行します。

1. Cisco CallManager Administrator Web ページへ移動します。
2. [Service] > [Service Parameters] の順に選択します。
3. ドロップダウン ボックスからサーバを選択し、ドロップダウン ボックスから [Cisco CallManager] を選択します。
4. 拡張サービス パラメータをすべて表示するため、[Advanced] を選択します。
5. [Cluster Wide Parameters (Device - PRI and MGCP Gateway)] ヘッダーの下で [Change B-Channel Maintenance Status 1] パラメータの値を入力します (ステータス 2 ~ 5 の同様の名前のパラメータが 4 つあります)。このパラメータにより、Cisco CallManager はトラブルシューティングの目的で、PRI インターフェイスの個々の B チャンネル メンテナンス ステータスをリアルタイムに変更できます。このパラメータの入力形式は **Device Name = B-Channel Maintenance Status** です。デバイス名は、ゲートウェイ設定 Web ページ上部に表示されるゲートウェイ名と正確に一致している必要があります。たとえば *S0/DS1-0@SDA123456789ABC = 0000 1111 0000 0000 0000 0001* です (T1 の場合は 24 ビット。チャンネル番号は左から右の順に 1 ~ 24 です。最後の番号は D チャンネルを指定します。これは影響を受けません。この例では、5 番目 ~ 8 番目の B チャンネルがアウト オブ サービスです。) 手動で入力する際の誤りを避けるため、CallManager Gateway Configuration Page からデバイス名をコピーし、サービス パラメータに貼り付けます。= は必須であり、[Device Name] フィールドと [B-Channel Maintenance Status] フィールドを一意に区別します。 *B-Channel Maintenance Status = xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx xxxx*。x には次のいずれかが示されます。0 : イン サービス。1 : 正常なアウト オブ サービス。アクティブ コールがそのチャンネルに存在している場合は、アクティブ コールの終了後にチャンネル ステータスを変更します。2 : 強制アウト オブ サービス。アクティブ コールがそのチャンネルに存在している場合は、即時にアクティブ コールを切断し、ステータスを変更します。システムではその他の値はすべて無効として扱われ、値は適用されません。x の合計個数が T1 では 24、E1 では 32 であることを確認します。その他の無効な長さまたは不一致 (E1 に 24 個) はエラーとして扱われ、そのデバイスに対してアクションが実行されません。

Clusterwide Parameters (Device - PRI and MGCP Gateway)		
Parameter Name	Parameter Value	Suggested Value
ASN.1 ROSE OID Encoding*	Use Local Value	Use Local Value
QSIG Variant*	ISO (Protocol Profile 0x9F)	ISO (Protocol Profile 0x9F)
Caller ID		
Calling Name Not Available Timeout (msec)*	2000	2000
Calling Party Number Screening Indicator*	CallManager sets the screening indicator value - Default setting	CallManager sets the screening indicator value - Default setting
Change B- Channel Maintenance Status 1		
Change B- Channel Maintenance Status 2		
Change B-		

これらの拡張サービスパラメータの設定方法の詳しい説明を確認するには、サービスパラメータを選択し状況依存ヘルプを呼び出します。

6. Cisco CallManager で [PRI Gateway Configuration] を選択し、次の作業を行います。[Inhibit restarts at PRI initialization] をオフにします。[Enable status poll] をオンにします。変更を反映するためにゲートウェイを再起動します。

Interface Information	
PRI Protocol Type*	PRI EURO
Protocol Side*	User
Channel Selection Order*	Bottom Up
Channel IE Type*	Use Number when 1B
PCM Type*	A-law
Delay for first restart (1/8 sec ticks)	32
Delay between restarts (1/8 sec ticks)	4
<input type="checkbox"/> Inhibit restarts at PRI initialization	
<input checked="" type="checkbox"/> Enable status poll	

注: H.323 および SIP ゲートウェイでは、音声ゲートウェイから CAS または CCS (PRI) トランクの B チャンネルをビジーアウトすることもできます。詳細については、「[AS5400 ゲートウェイでの音声およびデータ コールに対する TDM スイッチングの設定例](#)」の「[トラブルシューティング](#)」の項を参照してください。

注: Cisco Bug ID [CSCdx92111](#) ([登録ユーザ専用](#)) で説明するように、6 つ以上のゲートウェイをビジーアウトすることはできません。

関連情報

- [高度な音声ビジーアウト](#)
- [Cisco CallManager サービス パラメータ設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)